

日本医療検査科学会 科学技術委員会  
2021 年度第 1 回委員会議事録

1. 日時：2021 年 4 月 17 日（土）14:00～15:20
2. 場所：ZOOM によるオンライン会議
3. 出席者（敬称略）：藤本、大久保、澤部、白井、三村、神山、清宮、田中、谷本、柏木、金沢、青柳、沼田、山本裕、和田、菊地、関田、川崎、末吉、山下、山内、緒方、春田、岡田、藤田、新井、桑、片岡  
欠席者（敬称略）：山本慶、外園、篠原、高崎、御子柴、山口、汐谷、大澤、細萱、山舘、池田、村本、河口

オブザーバー参加（敬称略）：角田

4. 配布資料：

- 資料 1：2021 年度科学技術委員会委員名簿
- 資料 2：科学技術委員会新規委員候補
- 資料 3：科学技術セミナー・モーニングセミナー視聴者数
- 資料 4：科学技術セミナーアンケート結果
- 資料 5：モーニングセミナーアンケート結果
- 資料 6：2021 年度科学技術委員会活動計画案
- 資料 7：第 22 回科学技術セミナー演題・講師
- 資料 8：第 19 集マニュアル目次・執筆者
- 資料 9：今後の技術マニュアルテーマについて
- 資料 10：委員会の英語表記案
- 資料 11：第 53 回大会スケジュール案

5. 議事：

(1) 2021 年度からの科学技術委員会委員長について

藤本委員長は 2019 年に委員長に就任したことから、昨年度で 2 年の任期が終了となる。しかし、委員長任期は再任が可能であり、2 期 4 年まで認められていることから、引き続き更に 2 年間の委員長継続が提案され、承認された。

(2) 2021 年度科学技術委員会委員について（資料 1, 2）

2021 年度の委員名簿について資料を基に説明があった。委員の変更点としては、4 名の先生から委員を退任したい旨の申し出があった。池田先生は体調不良によるものであり、谷本、村本、河口の各先生はいずれも定年に関係した理由である。また、新規委員候補として、角田（富士フイルム和光純薬）、姫野（ファルコバイオシステムズ総合

研究所)、黄江(川崎医科大学総合医療センター)、三宅(岡山大学病院)の各先生方に関して説明があった。新任および退任に関して、委員会として承認することになった。但し、委員の選任は学会理事会の承認事項であり、理事会承認後に正式決定となる。新年度を迎えて所属先の変更等、名簿の記載事項に変更がある場合は、事務局まで連絡をお願いしたい。

(3) 第52回大会における科学技術セミナー及びモーニングセミナーについて

(資料3, 4, 5)

第52回大会(横浜)は新型コロナウイルスの感染拡大により、オンデマンド方式に変更となった。技術セミナーとモーニングセミナー、それぞれの演題の最大視聴者数は技術が321名、モーニングが315名であった。学会登録者数が前回大会の3分の1であること、また、視聴者数が最大のセッションでも329名であったことを考えると非常に多くの方に視聴していただいたと考えられる。一方でアンケートへの回答は低調で、技術は6件、モーニングが5件の回答数に留まった。セミナーに対する評価はいずれも高く、モーニングセミナーの方が若い方の視聴が多い傾向であった。発表形式がオンデマンド方式へ変更となった点については、何度も繰り返し視聴することが可能である、都合の良いタイミングで聞くことができる、スライドを止めたりできて理解しやすい、等の好意的な意見が多かった。

(3) 2021年度の活動計画について(資料6, 11)

今年度の活動計画について説明があった。第2回の委員会は10月9日(土)10:30~11:50、技術セミナーは最終日10月10日(日)13:00~15:30での開催を予定している。また、第20集マニュアルを今年度中に発刊予定である。

(4) 第22回科学技術セミナーについて(資料7, 8)

第19集マニュアルが完成して会員へ配布されたので、次回53回大会においてはこれを基に技術セミナーを実施する。演題の内訳として、分析前、分析中、分析後に分類して5名の方に講演していただく方向で考えている。5名の講演だと一人25分程度の時間になるので、自分のテーマ以外のいくつかのタイトルを組み合わせても良い。藤本委員長が原案を作成し、メール等で調整・承認することになった。

(5) 第20集マニュアルについて(資料9)

従来から挙げられているテーマ候補に加えて、「衛生検査所における検体搬送・精度管理・データチェックマニュアル」、「機器・試薬メーカーによる診療支援と法令遵守マニュアル」、「謎解き臨床化学検査」、「薬物、食事、機材、環境による検査値への影響」

が新規テーマとして提案された。議論の結果、第 20 集では「謎解き臨床化学検査」をタイトルとすることに決定した。知っているようで知らない、良く使っている言葉や内容について特に若い技師向けに解説する。来年 2 月の刊行を目指す、そのためには詳細な内容を早めに決定する必要がある。

(6) 委員会の英語表記について (資料 10)

科学技術委員会の英語表記について検討し、資料の 6 案の中から「Committee on Science and Technology」を選定した。学会事務局に報告する。

(7) その他

- ・ 退任される富士フィルム和光純薬の谷本先生および新任予定の角田先生から挨拶があった。
- ・ 今年度の大会は、金・土・日の開催であり、現在のところ現地開催を予定している。
- ・ 桑先生から、正しい用語についての注意点と、治療薬物が検査値に与える影響に関するハンドブック作成の提案があった。

以上

(記録：澤部)